



春の夕陽カフェ

国賀ロータリーから観音岩を眺めて、その頂点に夕陽が灯るのは4月と9月です。春の日没時間は午後6:30過ぎ。その時期に合わせて国賀まつりの一環である「夕陽カフェ」が、4月21日(土)と28日(土)の2回にわたって開催されました。

お世話をいただいたのは「わがとこ茶屋」スタッフの皆様です。

ロータリーのあづま屋では午後5時頃から準備に取り掛かり、午後5時30分からカフェをオープンしました。また、今年は「夕陽カフェ」専用バスを手配して、お茶とケーキを無料でサービスしました。

両日ともに天候に恵まれ、21日の参加者は地元の方59人と観光客12人、28日は地元の方55人と観光客28人でした。これは桜の花びらをかたどったアンケート用紙に性別と年齢を記入してもらい、それを集計した結果です。

地元の方にとってはいつでも気軽に行ける場所ですが、このイベントをきっかけに改めて身近な場所を見直す良い機会となったはずです。

観光客の方には「夕陽カフェ」以外のサービスとして、観光協会では西ノ島の写真をSNS(フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど)に発信した場合、それを観光協会窓口で見せれば、6枚の絵はがきを進呈するというキャンペーンを始めました。これによって大勢の方々が西ノ島の魅力を発信して貰いたいと考えたからです。何と言っても西ノ島は「インスタ映え」する景観がある場所ですから。



発見! 西ノ島の自然の魅力 Vol.28 『西ノ島にアシカ? が出現』

1年ほど前の平成29年4月27日(木)、美田湾や浦郷湾でアシカのような動物が現れて大騒ぎになりました。「状況を把握するため写真を撮ってほしい」と役場から連絡が入り、鶴丸さんの船でアシカ(?)に接近。ほぼ顔の分かる写真を撮影することができ、確認のためアクアスに送りました。この間、関係者の間では「絶滅したニホンアシカならビッグニュースだ!」と色めき立ちました。

しかし、結果は「キタオットセイ」でした。北海道以北の千島列島などで繁殖しているアシカの仲間で、冬季に日本近海へ来遊するそうです。5月頃は繁殖地に向けて移動し始める時期のため、島前の内湾に迷い込むこともあるのでしょう。

ニホンアシカでなく残念でしたが、キタオットセイも絶滅危惧種に指定されている希少な海の生き物です。この春も西ノ島のどこかの海に現れるかもしれません。



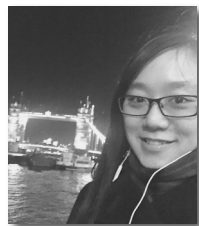
▲美田湾に現れたキタオットセイ

イギリス王室とウィンザー ～ Windsor ～

木々の緑が目にしみる今日この頃、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

4月21日（土）にイギリスの女王陛下エリザベス2世の誕生日（式は6月9日（土）に行われる予定）があり、4月23日（月）にエリザベス女王の曾孫のルイ王子が誕生され、5月2日（水）はシャーロット王女の誕生日、5月19日（土）にはエリザベス女王の孫のヘンリー王子とアメリカ女優のメーガン・マークルさんの結婚式が行われるなど、4月～6月に渡ってイギリスの王室に係わるイベントが多いですね！

せっかくですので、今回はイギリス王室と深い関係をもつウィンザーの話をしたいと思います。



国際交流員
ウォン・チンイン・クレオ



ウィンザーという町 ～ Windsor ～

ウィンザーはイギリス南部のイングランドにある町です。ロンドンから電車で1時間ほどしか掛からないため、多くの観光客が訪れています！

1440年に創設されたイギリスの超名門男子校もウィンザーにあります。



ウィンザーにあるウィンザー城 ～ Windsor Castle ～

ウィンザー城はウィンザーにあり、イギリスの君主の公邸の1つです。話によると、女王エリザベス2世はよくここで週末を過ごされるそうです。ちなみに女王陛下がいらっしゃるときは王室旗が揚げられ、いらっしゃらないときはイギリス国旗になりますよ！

ウィンザー城内は豪華なステートアパートメント（色んな貴重な美術品が飾られている部屋）や鎧と磁器のコレクションが印象的です！城内には音声ガイド（日本語もありますよ！）がありますので、ツアーに参加しなくてもお城を堪能できます！また、5月19日（土）に行われたヘンリー王子とメーガン・マークルさんの結婚式開催地の聖ジョージ礼拝堂もウィンザー城内にありますよ！

ウィンザー城は国家行事に使われているので、普段の見学入場時もセキュリティチェックが行われています。また、女王陛下の公務によって一般公開が急遽変更になることもありますので、見学に行く前には要確認です！



▲ヘンリー8世門



▲ラウンド・タワー



ウィンザー朝 ～ House of Windsor ～

ウィンザー朝は1917年から始まる、現在のイギリスの王朝です。当時のイギリス国王のジョージ5世が「サクス＝コバーク＝ゴータ家」（House of Saxe-Coburg-Gotha）から「ウィンザー家」に改名し、王家の姓を「ウィンザー」に決めました。

そして、エリザベス女王は1960年に王家の姓を「マウントバッテン＝ウィンザー」（Mountbatten - Windsor）（エリザベス女王と夫のエディンバラ公フィリップ王配の其々の名字で結んでいた名字）に改姓しましたが、ほとんど使われていないそうです（笑）。